

教育調査演習Ⅰ

科目ナンバリング SOE-203
選択 2単位

谷村 英洋

1. 授業の概要(ねらい)

教育をテーマとした量的社会調査の過程を一通り経験する。問い・仮説を設定し、質問紙を作成し、実際に調査を行う。その後、コンピュータを用いてデータ入力、統計分析(仮説検証)を行い、最終的に成果を報告書にまとめる。

※社会調査士科目G

グループごとにサブテーマを決めて仮説と質問を作成する。複数のグループの質問を一冊の質問紙にまとめ、合同で実査を行う。その後、グループごとに分析(仮説検証)をし、報告書を作成、発表を行う。
【スケジュール】問い・仮説の作成(1～3回)、質問紙の作成(4～5回)、実査とデータ入力・整備の方法(6～8回)、データ整備の実践(9回)、データ分析(10～12回)、報告書作成と発表(13～15回)

2. 授業の到達目標

- ・興味のあるテーマを自ら見つけることができる
- ・問い・仮説の設定、質問の作成、データ整備・分析を実行できる
- ・量的データの分析結果から適切な解釈や考察を展開できる
- ・量的データを用いた報告(報告書と口頭発表)ができる
- ・授業内の集団での学びにおいて自分の意見を建設的に述べることができる

3. 成績評価の方法および基準

授業内・授業外の課題および調査活動への貢献(30%)、口頭発表(40%)、報告書(レポート)(30%)

4. 教科書・参考文献

参考文献

大谷信介・木下栄二・後藤範章・小松洋 『新・社会調査へのアプローチ:理論と方法』 ミネルヴァ書房
轟亮・杉野勇編 『入門・社会調査法 第3版』 法律文化社
村瀬 洋一・高田 洋・廣瀬 毅士 『SPSSによる多変量解析』 オーム社

5. 準備学修の内容

先行研究レビュー、仮説の検討、実査補助、エディティング、データ入力、分析、レポート執筆などを課します。

6. その他履修上の注意事項

グループでの活動においては、協力的・積極的に関わることを求めます。

7. 授業内容

- | | |
|--------|-------------------------------------|
| 【第1回】 | イントロダクション
問い・仮説の作成(1)量的調査の問いと仮説 |
| 【第2回】 | 問い・仮説の作成(2)ブレインストーミング |
| 【第3回】 | 問い・仮説の作成(3)先行研究レビューの発表 |
| 【第4回】 | 質問紙の作成(1)ワーディング |
| 【第5回】 | 質問紙の作成(2)構成・レイアウト、編集 |
| 【第6回】 | 実査に向けた準備 |
| 【第7回】 | エディティングとコーディング |
| 【第8回】 | データ入力 |
| 【第9回】 | データクリーニングと単純集計 |
| 【第10回】 | データ分析(1)調査報告の構成
(LMSによるオンデマンド形式) |
| 【第11回】 | データ分析(2)仮説検定:クロス集計 |
| 【第12回】 | データ分析(3)仮説検定:多変量解析 |
| 【第13回】 | 発表資料および報告書の作成 |
| 【第14回】 | 発表会1 |
| 【第15回】 | 発表会2、まとめ |